

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）研究開発テーマに関する情報提供依頼（RFI ; Request for Information）」の公募  
～Society 5.0 の実現に向けたアイデア募集～

## RFI の趣旨

内閣府では、平成 26 年から戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）を創設し、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の司令塔機能を生かし、府省横断的な研究開発に取り組んできました。

現在の SIP 第 2 期が令和 4 年度までであり、「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」（令和 3 年 3 月 26 日閣議決定）に基づき、令和 5 年度からの次期 SIP で取り組むべき課題について、我が国が目指す将来像（Society 5.0）の実現に向けて、バックキャストにより検討を進めてきたところ、令和 3 年 12 月 23 日の CSTI のガバニングボードで課題候補（ターゲット領域）を決定しました。

次期 SIP では、各課題で取り上げる研究開発テーマについてあらかじめ技術面、事業面から十分な検討を行うため、令和 4 年度に FS（Feasibility Study）を実施し、その結果をもとに、同年度中に各課題の研究計画や実施体制を決定することを予定しております。

上述の FS の実施に先立ち、今般、研究開発テーマの情報提供依頼、いわゆる RFI（アールエフアイ。Request for Information）を実施いたします。

RFI は、次期 SIP の各課題候補（ターゲット領域）に関し、大学、研究機関、企業、ベンチャーなどの関係者から、実施する研究開発テーマのアイデアを幅広く情報提供いただくことを目的として実施するものです。

内閣府は RFI の結果を踏まえ各課題候補のコンセプト（各課題候補において FS の対象となる研究開発テーマの構成）をブラッシュアップした上で、そのコンセプトに関し優れた知見や経験を有し、FS を効果的に運営できる者を PD（プログラムディレクター）候補として選定し、PD 候補のもとで FS を実施します。

RFI に情報提供があった研究開発テーマであって、各課題候補のコンセプトに合うものについては、FS の中で、次期 SIP の基本的な枠組み等を踏まえ、SIP の位置付けや運営の方針との整合性、省庁連携で取り組む必要性、経済的・社会的インパクトなどを調査し、次期 SIP として取り上げるかどうか検討を行うことを予定しております。

## 情報提供依頼（RFI）の実施要領

### （1）募集期間

2月28日（月）17:00 まで

### （2）募集対象

次期 SIP の課題候補で取り上げるべき研究開発テーマ

- 情報提供いただく研究開発テーマは、各課題候補に貢献するものであって、技術開発に限らず、技術開発に係る共通システムの構築やルールの整備など、総合知を活用したような取組についても期待いたします。
- 情報提供は各課題候補の「必要と考えられる基盤技術、共通システム、ルールなどの例」で

挙げたものに限るものではありませんが、この程度の粒度のテーマを想定しています。

- 次期 SIP で各研究開発テーマを取り上げるようになった場合の予算規模、事業期間は今後 FS を通じて検討することになりますが、参考として、これまでの SIP の実績を以下のとおりお示しします。
  - ① 課題全体：予算規模 10～30 億円/年程度。事業期間 5 年。1 つの課題は複数のサブ課題で構成され、またサブ課題は数十程度の研究開発テーマで構成。
  - ② 研究開発テーマ：予算規模数千万円/年程度。事業期間 1～5 年。5 年のものは 3 年目でステージゲートを設定。
- 研究開発テーマのフェーズとしては、SIP は基礎研究から社会実装まで一貫して推進するプロジェクトであり、基礎研究に近い研究開発も可能ですが、事業期間中に社会実装に向けて、従来の TRL（技術成熟度レベル）に加え、BRL（ビジネス成熟度レベル）の観点から、コスト面も含む事業化の目途が立ち、民間企業の事業部門での取組につながることを期待されています。詳細は次期 SIP の基本的な枠組みをご参照ください。
- 複数の課題候補に貢献する情報提供も歓迎します。ただし、RFI 結果の整理や FS の実施にあたって、内閣府において課題候補との関連性等を踏まえ、対象となる課題候補を絞る可能性があります。

### (3) 情報提供主体

研究開発テーマの実施主体となりうる大学、研究機関、企業、ベンチャー、業界団体などまたはそれらに所属する方

- RFI の段階で、必ずしも所属組織の了解を取る必要はありませんが、次期 SIP の実施にあたっては所属組織の協力が得られる目途があることが望ましいと考えます。
- SIP は社会実装を目指すプロジェクトですので、大学や研究機関のみでの提案も可能ですが、実行段階では、企業等と連携するなど社会実装に向けた実施体制が組み立てられていることが望ましいと考えます。

### (4) 実施方法

以下のような事項につき、情報提供をいただけますようお願い致します。情報提供項目は別添のとおりです。

#### (必ず記載いただきたい事項)

1. 情報提供する研究開発テーマ
2. 情報提供する研究開発テーマの次期 SIP 課題候補の選択
3. 情報提供する研究開発テーマと次期 SIP 課題候補との関係性
  - 選択した次期 SIP 課題候補において、情報提供する研究開発テーマは何をどのように解決するものか
  - 取り組むべき研究開発（基盤技術開発、システム開発、社会実証実験等）の内容について
  - 研究開発のキーワード

(任意で記載いただきたい事項)

1. 研究開発実施体制
2. 情報提供する研究開発内容の技術成熟度レベル（現時点の状況）
3. 主要な研究者・研究機関の情報（論文、特許、過去の国プロの取り組み）
4. その他情報提供する研究開発内容に関係のある成果や情報

任意で記載いただいた事項も含め、参考として、PD 候補の選定や FS 等の実施方法につき、検討を行う予定です。積極的な情報提供のご協力をいただけますようお願い致します。

**留意事項**

- 次期 SIP の研究開発テーマは RFI で情報提供されたものを参考としつつ、FS の中で PD 候補が関係府省や管理法人と連携して検討を行うこととなります。PD 候補等が、RFI で情報提供がなかったものでも必要に応じて取り上げる可能性はありますが、RFI で情報提供を行うことで研究開発テーマの候補としての検討が促進されます。FS においては、RFI の情報提供者からの情報収集や、必要に応じて試作などにより技術面や事業面からの実現性評価を行う可能性があります。FS は課題候補ごとに1~2億円の予算を予定しています。
- RFI で情報提供されたものを研究開発テーマとして取り上げるようになった場合には、令和5年度以降の次期 SIP の実施にあたって、改めて研究開発テーマごとに研究実施者の公募が行われます。このとき、RFI で情報提供を行った者が必ず採択されるものではないことをご承知おきください。
- 次期 SIP の研究開発テーマについては、マッチングファンドやデータマネジメントなど次期 SIP としてのルールが適用されることとなります。それらの適用の範囲や方法など、次期 SIP の具体的な制度設計については、次期 SIP の制度設計の方向性を踏まえ、令和4年度中に、FS で検証を行いながら、検討を行うことを予定しております。
- RFI で情報提供いただいた内容は、研究開発テーマの名称などについて一定の整理を行った上で公開する可能性があります。また、FS の実施にあたっては、情報提供内容全体について、PD 候補、関係府省、管理法人などの関係者に情報提供させていただく可能性があります。このため、特に、公知情報ではないものについては、提供者の責任の下で関係者の了解を得たうえで情報提供をいただけますようお願い申し上げます。

## ご提供者の基本情報

問い合わせ窓口となる主情報提供者について記載ください。

組織間連携による情報提供の場合、件数は1件とし、主提供者が提供を行ってください（共同提供者については主提供者が情報を入力する形としてください）。

### ご提供者（主提供者）

A11 所属機関名 ※回答必須	
A12 所属部署名 ※回答必須	
A13 お役職 ※回答必須	
A14 お名前（氏名） ※回答必須	
A15 住所（都道府県市区町 村名までで可） ※回答必須	

### 問い合わせ先ご担当者

A21 所属機関名	
A22 所属部署名	
A23 お役職	
A24 お名前（氏名）	
A25 電話番号 ※回答必須	
A26 メールアドレス ※回答必須	

情報提供に当たって連携先がある場合は、以下にもご記載ください。 ※回答任意

A31 連携先所属機関名・部署名（主な先を3つまで） ※主提供者の所属機関を除く	①	
	②	
	③	

⇒次のシートにお進みください。

# 情報提供内容

ご提供いただける情報について以下に記載をお願いします。

## 【研究開発テーマ】

**B1** 情報提供いただける「研究開発テーマ名」を記載してください。（40字以内）

注：情報提供者において検討されている研究開発の内容を簡潔に表すテーマ名を付けてください。

## 【情報提供の領域】

**B2** 別添の資料1、資料4では、「Society5.0の実現に向けたターゲット領域（次期SIPの課題候補）」を15個設定しています。B1で記載いただいたテーマは、どれに該当しますか？

【主領域】最も近い領域1つにチェックください。

【副領域】主領域以外にも該当領域がある場合、最大3つまで（主領域以外）をチェックください。

主領域 (1つ)    副領域 (最大3つ)

主領域	副領域	領域
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 統合型ヘルスケアシステムの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 包摂的コミュニティプラットフォームの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 海洋安全保障プラットフォームの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 サーキュラーエコノミーシステムの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8 スマート防災ネットワークの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9 スマートインフラマネジメントシステムの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 スマートモビリティプラットフォームの構築
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12 バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13 先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14 AI・データの安全・安心な利活用のための基盤技術・ルールの整備
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15 マテリアルプロセスイノベーションの基盤技術の整備

**【研究開発テーマの概要】**

**B3** B1の研究開発テーマが対象とする次期SIPの課題候補において、「解決するもの」、「内容」、「キーワード」について記載してください。(システム開発、社会実証実験等提案の場合、B33への記入は必須ではありません。)

<p><b>B31</b> B1の研究開発テーマは、対象とする次期SIPの課題候補（B2で選択された主領域）において、何をどのように解決するものでしょうか？（100字以内）</p>				
<p><b>B32</b> 取り組むべき研究開発（基盤技術開発、システム開発、社会実証実験等）の内容について記載ください。（500字以内）</p>				
<p><b>B33</b> 研究開発のキーワード（科研費の細目表から1つ選択の上、より詳細なキーワードを3つ記載ください。）</p>	<p>科研費の細目表における 小区分記号（5桁）または 中区分記号（2桁）</p>		<p>科研費の細目表における 小区分または中区分の名称</p>	
	<p>より詳細なキーワード（提案者が考える任意の語を5つまで記載ください）</p>	<p>1</p>		
		<p>2</p>		
		<p>3</p>		
		<p>4</p>		
		<p>5</p>		

【参考情報】

B4 B1の研究開発テーマを実施する場合の「研究開発実施体制」、「技術成熟度レベル」、関連した「論文」「特許」等について記載ください。各項目に記載する内容が無ければ空欄で構いません。

B41 研究開発実施体制（主要な連携先）（主情報提供者を含め3機関まで）		機関名	想定している役割（担当サブテーマ等）
	1		
	2		
	3		
B42 情報提供する研究開発内容の技術成熟度レベル（総じて、現時点の状況について、プルダウンから選択ください）			
B43 情報提供の研究開発内容に最も関係のある論文（3件まで）  ※DOIはインターネット上のドキュメントに恒久的に与えられる識別子です。DOIが不明の場合は記載不要です。		DOI（Digital Object Identifier）※	第一著者名;発行年;論文名;Journal名;該当ページの順(半角セミコロンの区切り)
	1		
	2		
	3		
B44 情報提供の研究開発内容に最も関係のある特許（3件まで）		公開番号（登録済の場合、登録番号を入力）	発明の名称、出願人
	1		
	2		
	3		

B45 情報提供する研究開発内容に関係のある国又は国立研究開発法人からの委託費・補助金による研究開発を実施したことがある場合には、最も関係があるもの（3件まで）		事業年度 ※1	事業名（国プロの制度の名称）	研究開発テーマ名 ※2
※1 「2015-2018年度」というように記載	1			
※2 全体テーマの一部分（サブテーマ）の場合は、「（全体テーマ）のうち（サブテーマ）」というように記載	2			
	3			
B46 その他情報提供する研究開発内容に関係のある成果や情報（例：国際標準化、製品・サービスの上市、国内外の社会経済情勢等）（100字以内）				

以上で終わりです。  
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。